



それって

研究不正です！



コピペは立派な盗用です！

適切な引用や参照を行わずに、他人の文章をコピペしたら、それは「盗用」という研究不正に当たります。詳しくは裏面へ！

研究不正は学生の皆さんには関係ない、と思っていませんか？「こんなくらい大丈夫」では済まされません。理解不足で知らない間に不正を行っていた、ということがないように、気をつけましょう。



他人のデータを無断で利用することは盗用にあたり、データを加工することは改ざんにあたります！



なんでそーなるの！

研究不正の種類

次に掲げる捏造、改ざん、盗用は、特定不正行為と呼ばれています。不正行為は、大学とあなた自身の社会の信頼性を失う行為であることを自覚し、公正な研究活動を行いましょう。



捏造：存在しないデータの作成

- ・実際にはインタビューを行っていないのに、架空の回答を作成する
- ・実験を行わずに、実験結果として架空のデータを作成する など



改ざん：データの変造、偽造

- ・ある被験者の記録を、別の被験者の記録として置き換える
- ・実験ノートの日付を、実際とは異なる日付に書き換える
- ・得られたデータを画像編集ソフトでトリミングしたり変造する など



盗用：他人のデータや研究成果等を適切な引用なしで使用

- ・他人の論文の一部を、適切な引用を行わずに自分の論文に掲載する など

その他の不正例：二重投稿（本質的に同一の内容の原稿をオリジナル論文としてさらに投稿）
不適切なオーサiership（研究活動に本質的な貢献をし、研究内容に責任を有し、研究成果の創出に実質的な寄与をしたと認められないオーサiership）

研究不正を防ぐには、日頃から研究室の仲間や指導教員と良質なコミュニケーションを図ること、研究や学習面で疑問があれば指導教員や信頼できる周囲の人に相談することなどが挙げられます。また、正しい実験手法を身に着けることや、引用、参照のルールを知ることが大切です。